



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月22日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松石 秀隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 長田 泰賢 TEL 03-6204-0608
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	136,326	6.1	8,355	1.6	8,263	1.4	5,493	6.2
27年3月期第2四半期	128,487	6.3	8,225	2.5	8,151	2.6	5,173	6.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5,465百万円 (6.7%) 27年3月期第2四半期 5,122百万円 (0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	175.99	—
27年3月期第2四半期	165.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	879,804	140,723	15.9	4,490.84
27年3月期	828,618	136,117	16.4	4,344.43

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 140,189百万円 27年3月期 135,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	22.50	—	27.50	50.00
28年3月期	—	27.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	266,000	2.8	17,000	3.0	16,800	2.1	10,800	6.5	345.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	31,243,223株	27年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	26,415株	27年3月期	26,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	31,216,847株	27年3月期2Q	31,216,904株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第2四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	128,487	136,326	7,838	6.1
営業利益(百万円)	8,225	8,355	130	1.6
経常利益(百万円)	8,151	8,263	112	1.4
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,173	5,493	320	6.2
1株当たり四半期純利益	165円72銭	175円99銭	10円27銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	157,252	168,711	11,458	7.3
金融サービス事業(百万円)	11,737	13,914	2,177	18.6
取扱高合計(百万円)	168,989	182,625	13,636	8.1

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策を背景に雇用情勢は回復したものの、海外景気の下振れ懸念や企業業績の先行きに不透明感がみられました。

リース業界においては、平成27年8月累計のリース取扱高は前年同期比13.2%増加の1兆8,810億円(公益社団法人リース事業協会統計)となりましたが、平成26年度比ではマイナス2.7%と消費増税前には戻っていません。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、前期よりスタートさせた3ヵ年の中期経営計画(中計)の2年目として、引き続きベンダー営業を軸として収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長領域の構築を図りました。当社の主力分野である「事務用機器・情報関連機器」は前第1四半期まで続いたパソコン入れ替え需要の反動減から低調であったものの、新分野として開拓中の環境分野が伸長し、取扱高合計は前年同期比8.1%増加(平成26年度比13.3%増加)の1,826億円となり営業資産残高も前期末に比べ278億円増加し、7,386億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.1%増加し1,363億円となりました。リース・割賦事業だけでなく金融サービス事業の売上高も順調に伸長し、営業利益は前年同期比1.6%増加の83億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6.2%増加し54億円と第2四半期において過去最高となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期累計	当四半期累計	増減	前四半期累計	当四半期累計	増減	前期末	当四半期末	増減
リース・割賦	124,682	132,052	7,369	7,165	7,101	△64	596,486	616,452	19,966
金融サービス	2,980	3,280	299	1,394	1,607	212	105,291	110,104	4,812
報告セグメント計	127,663	135,332	7,669	8,560	8,708	148	701,777	726,556	24,779
その他	824	993	169	119	115	△3	8,998	12,107	3,109
合計	128,487	136,326	7,838	8,680	8,824	144	710,775	738,664	27,889

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、医療機器や環境分野などの産業工作機械の伸長で、取扱高は1,687億円と前年同期比7.3%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末に比べ199億円増加し、6,164億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比5.9%増加し1,320億円となりましたが、市場金利が低位で推移する中、リース粗利率の低下からセグメント利益は前年並みの71億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、個人・法人向け融資がともに伸長し、取扱高が前年同期比18.6%増加の139億円となりました。営業資産残高は、前期末から48億円増加し1,101億円となりました。また、受取手数料についても、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。売上高は前年同期比10.1%増加し32億円となり、セグメント利益は前年同期比15.2%増加し16億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ会社への融資・ファクタリング取引等が含まれています。売上高は前年同期比20.5%増加の9億円、セグメント利益は前年同期比3.2%減少の1億円となりました。また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ31億円増加し121億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成27年9月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	828,618	879,804	51,186	6.2
*営業資産(百万円)	710,775	738,664	27,889	3.9
営業資産以外(百万円)	117,842	141,140	23,297	19.8
純資産(百万円)	136,117	140,723	4,606	3.4
自己資本比率(%)	16.4	15.9	△0.5ポイント	

*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他事業の営業資産を含めております。

【総資産】

取扱高の増加により営業資産が278億円増加したことで現金及び現金同等物が175億円増えたことなどで、総資産は前期末に比べ511億円増加し8,798億円となりました。

【純資産】

純資産は親会社株主に帰属する四半期純利益による54億円の増加と、剰余金の配当による減少8億円等で、前期末に比べ46億円増加し、1,407億円となりました。自己資本比率は前期末の16.4%から0.5ポイント低下し15.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△29,068	19,419	48,488
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△224	△347	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	19,430	△1,494	△20,924
現金及び現金同等物四半期末残高(百万円)	689	18,194	17,504

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間が290億円の支出に対して、当第2四半期連結累計期間は194億円の収入となり484億円の収入の増加となりました。この収入の増加は、リース債権及びリース投資資産の増減額が42億円の増加(支出)から123億円の増加(支出)へ81億円増加する一方で、集金代行の預り金の支払いが祝日の関係で翌月にずれ込み、その他の増減額が57億円の減少(支出)から458億円の増加(収入)へ517億円増加したこと、仕入債務の増減額が128億円の減少(支出)から41億円の減少(支出)へ87億円減少したことなどが主な要因であります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べて1億円支出が増加し、3億円の支出となりました。これは主に社用資産及び投資有価証券の取得によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間194億円の収入から当第2四半期連結累計期間14億円の支出となりました。前第2四半期連結累計期間においては、借入による純収入192億円、社債発行による収入199億円、社債の償還による支出350億円、コマーシャル・ペーパーの発行による純収入160億円、期末配当金の支払額7億円を要因として194億円の資金収入となりました。当第2四半期連結累計期間は、借入金の返済による純支出155億円、社債発行による収入199億円、社債の償還による支出200億円、コマーシャル・ペーパーの発行による純収入150億円、期末配当金の支払額8億円を要因として14億円の資金支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績は順調に推移しており、平成27年4月28日に公表した平成28年3月期連結業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617	8,195
受取手形及び売掛金	13	13
割賦債権	78,607	85,106
未収賃貸債権	38,078	38,271
リース債権及びリース投資資産	508,074	520,430
営業貸付金	114,289	122,211
その他の営業貸付債権	43,447	43,653
その他の営業資産	5,032	5,030
賃貸料等未収入金	6,685	6,532
その他の流動資産	19,438	34,059
貸倒引当金	△8,902	△8,636
流動資産合計	805,381	854,868
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	15,750	17,769
社用資産	416	412
有形固定資産合計	16,166	18,181
無形固定資産		
賃貸資産	124	92
その他の無形固定資産	1,788	1,624
無形固定資産合計	1,912	1,717
投資その他の資産		
投資有価証券	2,364	2,348
破産更生債権等	1,558	1,446
その他	1,795	1,712
貸倒引当金	△560	△470
投資その他の資産合計	5,157	5,036
固定資産合計	23,236	24,936
資産合計	828,618	879,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,476	20,288
短期借入金	125,465	101,940
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	44,331	78,810
コマーシャル・ペーパー	18,000	33,000
未払法人税等	3,197	2,785
割賦未実現利益	6,069	6,946
賞与引当金	724	726
役員賞与引当金	23	—
その他の流動負債	40,726	92,439
流動負債合計	283,013	346,936
固定負債		
社債	80,000	90,000
長期借入金	325,931	299,426
退職給付に係る負債	1,008	992
その他の固定負債	2,546	1,725
固定負債合計	409,487	392,144
負債合計	692,501	739,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	117,468	122,103
自己株式	△47	△47
株主資本合計	135,478	140,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	453
退職給付に係る調整累計額	△392	△377
その他の包括利益累計額合計	141	76
非支配株主持分	497	534
純資産合計	136,117	140,723
負債純資産合計	828,618	879,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	128,487	136,326
売上原価	113,615	121,250
売上総利益	14,872	15,075
販売費及び一般管理費	6,647	6,719
営業利益	8,225	8,355
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	13
その他の営業外収益	8	9
営業外収益合計	20	23
営業外費用		
支払利息	7	6
社債発行費	78	83
投資事業組合運用損	7	16
その他の営業外費用	2	9
営業外費用合計	94	115
経常利益	8,151	8,263
税金等調整前四半期純利益	8,151	8,263
法人税、住民税及び事業税	2,751	2,158
法人税等調整額	190	574
法人税等合計	2,942	2,733
四半期純利益	5,209	5,530
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,173	5,493

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	5,209	5,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	△79
退職給付に係る調整額	△36	14
その他の包括利益合計	△86	△65
四半期包括利益	5,122	5,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,085	5,429
非支配株主に係る四半期包括利益	36	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,151	8,263
貸貸資産減価償却費	3,080	3,533
社用資産減価償却費及び除却損	358	371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△354	△355
賞与引当金の増減額(△は減少)	18	2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△23
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15	12
受取利息及び受取配当金	△20	△18
資金原価及び支払利息	793	743
社債発行費	78	83
投資事業組合運用損益(△は益)	7	16
割賦債権の増減額(△は増加)	△3,229	△5,622
未収貸貸債権の増減額(△は増加)	△3,109	△192
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△4,238	△12,356
営業貸付金の増減額(△は増加)	25	△7,922
その他の営業貸付債権の増減額(△は増加)	△1,354	△205
貸貸料等未収入金の増減額(△は増加)	226	153
貸貸資産の取得による支出	△6,531	△5,529
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△94	111
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,895	△4,187
その他	△5,734	45,839
小計	△24,861	22,717
利息及び配当金の受取額	42	11
利息の支払額	△1,002	△776
法人税等の支払額	△3,247	△2,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△29,068	19,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△151	△176
投資有価証券の取得による支出	△71	△180
その他	△1	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,338	△23,525
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	16,000	15,000
長期借入れによる収入	52,615	26,000
長期借入金の返済による支出	△20,035	△18,026
社債の発行による収入	19,921	19,916
社債の償還による支出	△35,000	△20,000
配当金の支払額	△733	△858
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,430	△1,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,863	17,577
現金及び現金同等物の期首残高	10,553	617
現金及び現金同等物の四半期末残高	689	18,194

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	124,682	2,980	127,663	824	128,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	124,682	2,980	127,663	824	128,487
セグメント利益	7,165	1,394	8,560	119	8,680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,560
「その他」の区分の利益	119
全社費用(注)	△454
四半期連結損益計算書の営業利益	8,225

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,052	3,280	135,332	993	136,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	132,052	3,280	135,332	993	136,326
セグメント利益	7,101	1,607	8,708	115	8,824

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、リコーグループ会社への融資、リコーグループのファクタリング等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,708
「その他」の区分の利益	115
全社費用(注)	△468
四半期連結損益計算書の営業利益	8,355

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。